特別寄稿　新型コロナウイルス対策

一人ひとりの想像力と心がけ！

麻布大学客員教授・（公社）日本食品衛生協会 学術顧問
（元国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第四室長）　野田　衛

あなたにとって大切な人は？

みなさん、あなたにとって一番大切な人を、目を閉じて想い浮かべてください。お父さん・お母さん？ お子さん・お孫さん？ おじいちゃん・おばあちゃん？ 奥様・旦那様？ それとも彼・彼女でしょうか？

そして、その大切な方の笑顔が突然消え、時として1カ月で天命を尽きてしまうことを。

それが今、世界で起こっている現実です。2020年4月17日現在、新型コロナウイルス感染による死者数は全世界で14万1千127人にのぼっています。あなたの大切な人の命、そしてなによりあなた自身が新型コロナウイルスに感染し、あなたの大切な人の笑顔を奪う可能性は徐々に高まっています。そのことに思いをはせ、そして今できることを考え、行動することが、新型コロナウイルスを予防する上で、とても大切です。

新型コロナウイルスを予防するには

広島県では3月6日に広島市で初発例が報告された後、しばらく報告はありませんでしたが、3月20日に尾道市で報告された後、4月以降急激に増加し（図1）、4月17日現在、9自治体で124名の感染者が確認されています（表）。

新型コロナウイルス感染症の予防対策は、初期においては、①「手洗い、咳エチケット、アルコール消毒」による個人予防の徹底、その後、②三つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避けるなどの個人の行動制限やイベントなどの自粛要請、そして、③緊急事態宣言が自治体に発出され、外出の自粛を含めたより強固な社会的隔離政策が執られます。

7都府県に出されていた緊急事態宣言は全国に拡大され、広島県は現在③の状況となりました。

ここで注意しなければいけないのは、②や③の状況においても、①をおろそかにしてはいけないことです。

（1）個人予防の徹底：ひまつ感染、接触感染を予防する行動を覚える。

ひまつ感染は、感染者からのせき、くしゃみ、かくたん、会話の唾液（つば）を、口、鼻、目に浴びることで起こるので、それらを直接顔（目の結膜や喉・鼻などを通じた呼吸器）に受けない行動をとることが重要です。

手指や具体的には、有症者との距離を保つ、顔をそむける、マスク（なければ、ハンカチ・タオルでもOK）で顔を覆う、メガネを着用するなどです。また新型コロナウイルスに感染しても、症状がでない不顕性感染や軽い軽症感染を起こすこともあります。従って、自分自身を含め、会話する相手も新型コロナウイルスに感染している可能性があることを意識して、行動することが大切です（ただし、相手や感染者への差別的、偏見的な態度は絶対にやめましょう）。

新型コロナウイルス感染が疑われる症状（発熱・せきの持続、臭覚異常など）が認められたら、最寄りの保健所に連絡し、相談してください。

感染者と会話すると、ひまつ感染は防げても、ウイルスが手指や衣服に付着することがあります。そこに触れた手で口、鼻、目に触れると感染が起こります。これが接触感染です。そのため、それらに触れた後は、「ウイルスが指についているかもしれないので、次の手洗い・消毒までは顔に触れない」と意識できるかどうかが大切です。それができて、初めて手洗いの予防が役に立ちます。

手指や環境などの消毒はエタノール以外でも、ポビドンヨード系消毒剤（うがい、手洗い）、酸性電解水（次亜塩素酸水）（手洗い）、塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）（手洗い、環境の消毒）、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤：環境の消毒（脱色に注意））なども利用できますので、目的に応じて使い分けましょう。

（2）個人の行動制限：外出を自粛し、「三つの密」を避ける。

新型コロナウイルスの集団感染は、三つの密（①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面）が重なる場所や場面で起こりやすいことが分かっています（図2）。

重要なことは、各自の生活の中でどこが（いつが）そのような場所か場面にあたるのか？を考え、行動することです（行かない、参加人数を制限する、人と人との距離を保つ、消毒するなど）。

そして、食料品や医薬品などの購入を除き、不要、不急な外出は控えましょう。やむを得ず外出する場合は、できるだけ他人との距離を保つことを心がけてください。

大声でのカープの応援を夢見て

69年前、カープの存続が危機にひんした時、市民・県民の「たる募金」で乗り越えることができました。戦後の苦難の中、希望の光だったカープ。その大好きなカープの活躍も今は見ることができません。

何気ない日常の平凡が続くことの幸せ。それをいち早く取戻し、それまでの被害を少なくすることができるかどうかは、ひとえに県民の一人ひとりの想像力と心がけ、そして行動にかかっています。

原爆という史上最大の惨劇からの復興を遂げ、命の大切さを誰よりも知る広島県民であれば、それができると信じています。

マツダスタジアムで、大声で、肩を寄せ合い、笑顔で「かっ飛ばせー！カープ、コロナ倒したぞ！」と応援できるまで、「ほうじゃ。よっしゃ、やろーや、やろーや（そうだ。よし、頑張ろう）！。」

（原稿は、4月17日時点でのものです。発行・回覧時点の状況と異なる点がある場合をご了承ください。）

図1　週別新型コロナウイルス感染者数（広島県）

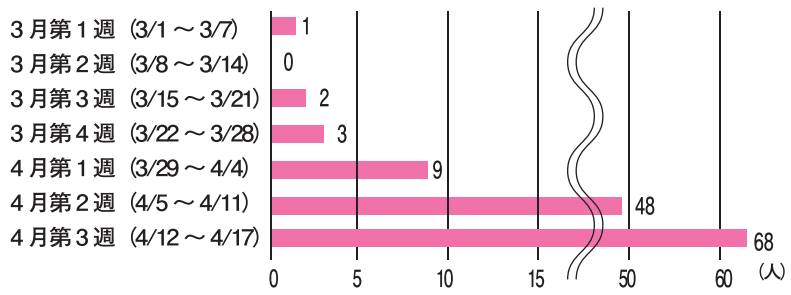
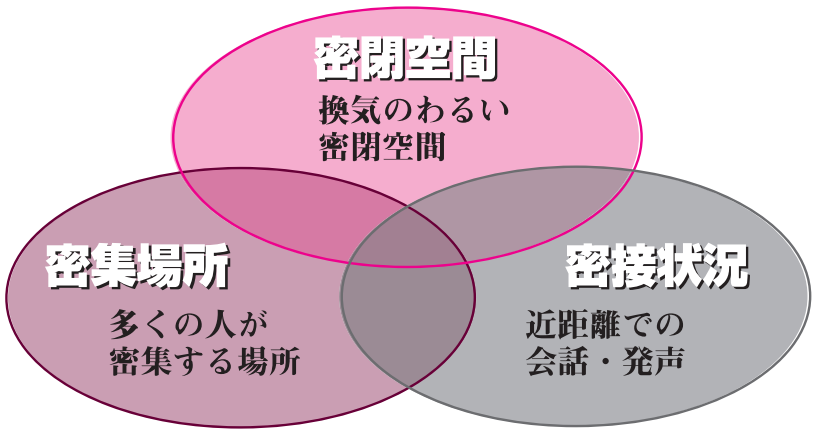


表　自治体別新型コロナウイルス感染者数（広島県）

自治体	最初の症例が確認された日	感染が確認された人数
広島市	3月　6日	56
尾道市	3月20日	3
福山市	4月　2日	20
府中町	4月　3日	2
江田島市	4月　6日	1
東広島市	4月　8日	2
三次市	4月　8日	37
廿日市市	4月15日	2
三原市	4月16日	1
計		124



密閉空間、密集場所、密接状況の3条件がそろった場所や場面で集団感染が、発生しやすくなる。二つや一つの条件に合うだけでも、危険性はある。

図2　新型コロナウイルスの集団感染が発生しやすい場所や場面